۵۸ ۸	T ***	# 88 24 14		88=# 左☆	A10475 (2	1022左座)	1四米パロ	あたまっ	— 777 /== 22		
		専門学校		開講年度	令和04年度 (2	2022年度)	授業科目	電気電子	·工学演習		
科目基礎	21世間報						ı				
科目番号		0054				科目区分		専門 / 選択			
授業形態		演習	演習			単位の種別と単位	数 履修単位	履修単位: 1			
開設学科電気電		_	電子工学科			対象学年	3				
開設期後期						週時間数	2				
				森, 荒井 共	著「電気回路の基礎						
担当教員		辻 琢人	•	·							
到達目標		1 = 27.									
		ベクト川圭	示注	• 複表数 ま ニバ	こついて理解し, そ	カムを田いて 雪生	こう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	 テラス			
		ハフトル衣	小瓜	泛米 奴衣小儿	こりいて生肝し, で	1177年用いて,电ヌ	·니디떠VJ 티 돢기기	170.			
ルーブリ	ノツク		1	+D45 / · **/· * ·	o E +	1=24.45 · · · · · · · ·	W & C +		.,,,,		
			理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベ			ベルの目安		
評価項目1	Ĺ		電気系の科目で使う数学に関する 応用問題が解ける.			電気系の科目で使	電気系の科目で使う数学に関する 問題が解ける.		科目で使う数	学に関する	
									問題が解けない. 電気回路に関する問題が解けない		
評価項目2		電気回路に関する応用問題が解ける.			電気回路に関する問題が解ける.		电双凹焰	亀丸凹崎に関する同趣が辨りない			
学科の至	引達日煙Ti	頭目との関				•		•			
•			1717								
教育方法	女寺	7-34-1-1	\	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			, hn , — ,		<u> + 1007-+ -</u>	######################################	
概要		正弦波交	流にま	うける表示法, ノベルを Fiff7	回路の計算, 具体に いくことで, 基礎:	内な演習問題を多く 学力と応田力を養っ	、解くことによっ の時に思議っ	って基礎理論 される雷気回	を埋解する. : 路と連携して:	基本的な問 行う	
								- 1 t O 电XILL	wu CJEJB U C	11 /.	
授業の進め	め方・方法	・ 「授業	シュヌオ 計画」	における各週	i・教育到建日標(B 週の「到達目標」は	ノトサロイに対応り この授業で習得する	。。 「知識・能力」	に相当する	ものとする.		
		<到達目	標の評	F価方法と基準	>下記授業計画の	「到達目標」を網羅	した問題を中間	試験およびこ	E期試験で出題	風し, 目標の	
		達成度を	<到達目標の評価方法と基準>下記授業計画の「到達目標」を網羅した問題を中間試験および定期試験で出題し,目標の達成度を評価する.授業計画の「到達目標」に関する重みは概ね均等とする.試験問題のレベルは100点法により60点以上の得点で目標の達成を確認する.								
		60点以	60点以上の得点で目標の達成を確認する。								
		〜ナ未成;	<学業成績の評価方法および評価基準>中間試験,定期試験の平均点で評価する.なお、中間試験について60点に達し ていない者には再試験を課すことがある。再試験の結果は、単位修得のために最低限必要な範囲で考慮する。								
注意点		<単位修	得要件	ト>学業成績で	60点以上を取得す	「ること.					
		<あらか	いじめ要求される基礎知識の範囲>ベクトル,複素数,三角関数等,1・2年及び3年前期で学んだ数学および電 D基礎を復習しておくこと.								
			を促て	で後首してのへご>授業中に行	、ここ. える演習問題の数を	補うために、レポ	ートとして課題	を課すことが	がある.		
		<備考>電	包気回	路の授業を,	える演習問題の数を 演習を通して補う技	くく とうしょ ひんり とうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょう はんしょう はんしょう はんしょ しょう はんしょう しんしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	問題に取り組む	姿勢が重要で	である. 本教科	料は後に学習	
1427114	=.h4.			D基礎となる教	メイトト じめる。						
		多上の区分				1					
□ アクテ	-ィブラーニ	ング		ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 実務	経験のある教員	員による授業	
授業計画	<u> </u>										
		週	授業区	 内容		lì	週ごとの到達目	標			
						1. 交流回路の複素数表示とベクトル表示法について					
		1週	正弦波交流の復習			理解し,問題を解析できる					
		2週	交流回路の復習				上記1				
		3週	交流回路の複素数及びベクトル表示1				上記1				
ı		4週	交流回路の複素数及びベクトル表示2				上記1				
ı	3rdQ		六江	司政の計符1				ついて理解し	」 、RLC直並列	川回路での基	
		5週	交流回路の計算1					正弦波交流について理解し,RLC直並列回路での基 回路と交流電力についての問題を解析できる.			
		6週	交流	回路の計算2			上記2				
ı		7週	交流	回路の計算3			上記2	2			
後期		8週		中間試験							
		9週	交流電			3	3. 交流回路の計算問題を解析できる.				
		10週	交流電				上記3				
ı		11週		<u> </u>			4. 回路網の計算ができる.				
		12週		照の計算2			4. 回路網の計算ができる.				
	4thQ	13週		明の計算2 網の計算3			4. 回路網の計算ができる. 4. 回路網の計算ができる.				
								I. 回路網の計算ができる.			
		14週		網の計算4							
		15週	回路網の計算4			4	1.回路網の計算ができる.				
-		16週									
モデルニ	コアカリキ	<u> Fユラムの</u>	学習	内容と到達	目標						
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週	
					キルヒホッフの法則を用いて、交流回路の計算ができる。 合成インピーダンスや分圧・分流の考え方を用いて、交流回路計算ができる。 直列共振回路と並列共振回路の計算ができる。 相互誘導を説明し、相互誘導回路の計算ができる。 理想変成器を説明できる。		 きる。	4			
									4		
専門的能力	カー分野別の門工学	の専「電気・	電子	電気回路			 できる。		4		
等门的肥力	- 門工学	系分野							4		
									4		
								4			
=示/正幸』/				[太川电力に力学です	ルカレ、これりで計	井てひる。		7	<u> </u>	
評価割合	i .		I.e.	FA		-max					
			試			課題		合計			
総合評価割	割合		80)		20		100			

≖ 7 ⊢	0.0	20	100
配点	[80	[20	100